

1年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・運動技能に優れている児童もいるが、投の技能、筋力、体力等が不十分な児童が多い。
- ・多様な動きに慣れていない。用具の操作(ボール・フープ等)にも個人差が見られる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分が楽しいと思うコースや遊びを選ぶことができている。
- ・工夫したことや楽しかった遊びを友達に伝えたり、表現したりすることができる。
- ・友達の動きを見て、良いところを真似したり、自分で工夫したりする姿が見られた。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・どの運動にも、楽しみながら進んで取り組む。
- ・休み時間には、ボールや遊具を使った遊び、鬼ごっこ、固定器具などを楽しんでいる。中には、外で遊ぶ経験が少ない児童も見られる。

重点課題

<知識及び技能>

- ・運動の基礎となる動きをたくさん経験させる。
- ・柔軟性や筋力、敏捷性を身に付けさせる。
- ・多様な動きを多く経験させる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・友達の良い動きを見付けて参考にしたり、自ら工夫して運動したりする。
- ・みんながゲームを楽しめるようルールや場を工夫したり、作戦を考えたりする。
- ・友達同士で協力し、アドバイスをしたり、教え合ったりして、意識を高める。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・集合、号令、話を聞くなど、学習規律を守る。
- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせることで、外遊びの日常化を図る。
- ・室内遊びやごっこ遊びが好きな児童の、体を動かす外遊びの意欲を高める。
- ・友だちと進んでかかわり、協力して運動する態度を育てる。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・走る、跳ぶ、投げる、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる、バランスをとる、用具を操作する等の基礎的な動きを多く経験させる。
- ・友達のよい動きをたくさん見付けさせ、コツとなる動きを理解させる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・児童の発想が広がるような声掛けや場を工夫する。
- ・グループの協力や作戦によって、楽しくできるようなゲームを行う。
- ・スモールステップを踏ませることで、できるようになる楽しさをより多く味わわせる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・友達と関わりながら運動を楽しむことができるよう、グループ作りやルールを工夫する。特に、男女が一緒に遊べるような遊びや運動を工夫する。
- ・校庭遊びだけでなく、体育館遊びや屋上遊びの日等はみんなで遊び、運動の心地よさを実感させる。
- ・学習の流れやルールの確認をするときに、きちんと話を聞いて理解できるようにする。

2年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・かけっこでまっすぐに走ったり、いろいろな方向に走ったりすることができる。
- ・曲に合わせて、リズムによって踊ることができる。

<思考力、判断力、表現力>

- ・グループで作戦会議をして、どうすればよいか考えることができる。
- ・友達のよい動きを見付けることができる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・体を動かすことが好きな児童が多く、進んで運動に取り組んでいる。
- ・きまりやルールを守って活動することができる児童が多い。
- ・運動の課題に対して取り組もうとする態度が見られた。

重点課題

<知識及び技能>

- ・運動経験が不足している児童が、基本となる運動を経験し、達成感を味わえるようにする。
- ・体を動かすことが苦手な児童が、体育の楽しさを味わうことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力>

- ・ゲームの攻め方や、守り方を工夫する。
- ・自分の考えや見付けたことを伝えたり、自分で実践したりする。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりする。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・一人一人が「できた」「分かった」と感じられるように、誰もが楽しめる工夫をする。
- ・走る、跳ぶ、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる等の動きの基本となる運動に重点を置き、身に付けさせる。
- ・とび箱、マットなどを使った運動遊びでは、逆さや腕支持等の基本的な動きを身に付けられる場を作り、自分のめあてに合った運動を行うことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力>

- ・児童のよい動きを共有する時間を効果的に取り入れることで、やってみたいという気持ちをもたせたり、真似をさせたりして、よい動きを広めていく。
- ・いろいろな運動や楽しいゲームを通して、心身のコントロールがうまくできるように、運動の楽しさを体験させる。
- ・ゲームの間に作戦会議をする時間を取り、自分の考えを伝え合う時間を設ける。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・運動遊びやゲームを通して、友達と協力する、誰とでも仲良く活動する楽しさを味わえるようにする。

3年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・すばやく走り始めたり、まっすぐ見て走ったりすることができる一方で、まっすぐ走ったり、最後まであきらめずに走ったりするという点で課題のある児童もいる。
- ・ボールを遠くへ投げることや捕ることが苦手な児童が多い。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・友達のよい動きを見付け、自分の動きに取り入れることができる児童が多い。
- ・友達や仲間と協力して作戦を考えることができる児童が多い。
- ・自己の能力に適した課題を見出したり、課題を設定したりすることに慣れていない児童が多い。
- ・自分の課題にあった練習方法を選んだり決めたりすることを楽しむ児童が多い。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・できるようになりたいという主体的な気持ちをもって取り組むことができる。
- ・自分の力を精一杯出し切ることができる児童が多い。
- ・友達と互いに励まし合い、教え合いながら運動することができる児童が多い。
- ・集団行動の規律、服装を整える（上着の裾をズボンに入れる・帽子のゴム・靴紐・ゼッケン）、運動する場所の安全を確認する等の指導が必要である。

重点課題

<知識及び理解>

- ・運動に親しみながら基礎的な知識や技能を身に付け、体力の向上を図る。
- ・複雑な動きや、巧みさを必要とする動きを身に付けられるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分の課題を見出し、よりよい動きにつながるようにする。
- ・チームワークを大切に、全員が楽しみながら技能を高めるにはどうしたらよいかを、全員で考え、実践できるようにする。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・集団行動の規律を守り、すばやく次の行動に移り、整列や集合ができるようにする。
- ・向上心を持ち、安全に配慮しながら意欲的に技能を高めていく態度を育てる。
- ・友達と協力し合ったり励まし合ったりする態度を高める。
- ・毎時間の振り返りで、自分の課題に向き合うようにする。

授業改善策

<知識及び理解>

- ・技や動きのポイントをしっかりと教師が伝えるようにし、正しい知識を身に付けられるようにする。
- ・技能を身に付けるためのコツに気付かせるような活動の場や発問を工夫する。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・一人一人が自分に合った課題を設定したり、選択したりする時間を設ける。
- ・できるようになりたい課題に対して適切な練習方法を提示し、児童が選んだり決めたりできる環境を整える。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・振り返りカードを活用して、毎時間振り返りの時間を確保する。
- ・向上心を持ち活動に取り組む意欲が高まるよう、模範演技の場を設けたり、児童相互で見合う時間を取り入れたりする。
- ・集中して活動に取り組めない児童に対して周囲の児童が声をかけ、互いに励まし合いながら活動ができるような人間関係をつくる。

4年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・腕を前だけでなく、後ろにも大きく振って走ることを意識させる必要がある。
- ・バトンを渡す技能や、ボールを投げる技能の個人差が大きい。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・運動のめあてに対して取り組み、振り返りができる児童は少ない。
- ・自分に合った課題を考え、その解決に向けて取り組むことが十分にできていない。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・体を動かすことを好み、約束やきまりを守り、友だちと協力して運動する児童が多い。
- ・友達と互いに励まし合ったり、教え合ったりしながら運動することができる児童が多い。
- ・体をよりよく発達・発育させ、元気に過ごすためには、食事・運動・睡眠が大切だということ理解している。また、自分のできることを生活に活かそうとする児童が多い。

重点課題

<知識及び技能>

- ・運動を楽しく行い、活発に運動を行っていく中で、体力や技能の向上を図る。
- ・運動を行う上で、体の動かし方などを理解し、実践できるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分に合った課題をもち、動き方や運動する場、練習の仕方などを工夫する。
- ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができる。
- ・振り返る際は、文章で自分の考えを表現できる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・協力・公正などの態度を育てること。
- ・運動をする場所の整備、用具の安全を確かめるなど、運動のきまりを守る態度の育成。
- ・学習課題の達成に向かって最後までやり遂げる態度の育成。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・体づくり運動では、楽しく取り組みながら各種の運動の基礎を身に付けられるように運動内容を工夫する。
- ・短距離走・リレーでは、バトンの渡し方やリードの重要性を伝える必要がある。
- ・ボール運動など、技能の習熟が必要なものには、準備運動を工夫して技能を高める。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分の課題を見出せるように、振り返りカードを活用する。
- ・自分に合った課題をもち、工夫することができるように、基本的な動きに十分取り組んだ上で工夫させる。
- ・チームのめあてや個人のめあてを設定し、場の工夫や学び合いを行う等、主体的な活動をさせる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・態度の評価の具体的な観点を児童に伝え、称賛の声掛けを繰り返すことで協力・公正の態度を育てる（用具の準備や片付けを友達と行う、きまりを守り、友達と励まし合って運動をすること等を重点に）。

5年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・ボールの扱いの個人差が大きい。
- ・持久力がない。
- ・曲のリズムに合わせて、楽しんで踊ることができる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・めあてをもって運動に取り組むこと、そのめあてに対する十分な振り返りができていない。
- ・自分に合った課題をもち、その解決に向けて取り組むことが十分にできていない。
- ・チームで取り組む学習では、練習方法や作戦を考えながら学習に取り組んでいた。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・体を動かすことを好み、約束やきまりを守って進んで運動する児童が多い。
- ・多くの児童が朝食をしっかり食べて登校しているが、食べずに登校する児童も少なからずいる。

重点課題

<知識及び技能>

- ・楽しく運動に取り組みながら、基礎的な技能を身に付ける。
- ・体力の向上を意識して運動に取り組む。
- ・発達の早期化と生活習慣の多様化に配慮し、体の発育・発達についての正しい理解と健康的な生活を送るための知識を身に付ける。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・試合やゲームの結果を意識するだけでなく、練習や試合で友達と協力し、楽しさや充実感を感じさせ、チームワークの大切さを意識する。
- ・自分またはチームの技能を高めるにはどうしたらよいか考え、めあてをもって活動する。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・めあてに向かって進んで取り組み、一人一人が楽しく運動できるように工夫しようとする。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで、互いに教え合う環境をつくったり、自分の能力に合っためあてをもち、自分の課題に合った活動ができるような場を設定したりする。
- ・ボール運動など、技能の習熟が必要なものには、準備運動を工夫して技能を高める。
- ・正しい知識をもたせることで、心身の成長や変化には個人差があることを理解させる。
- ・自分の体や心の状態に関心をもたせるだけでなく、実感を伴わせることによって、学習課題の解決方法に気付かせ、知識の定着を図る。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分に合った課題をもち、基本的な動きに十分取り組んだ上で工夫させる。
- ・一人一人が練習方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりできるよう、学習カードを工夫する。
- ・学習中のチームの良さや課題を話し合うための振り返りの時間を設ける。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・めあてをもって進んで運動に取り組めるよう、学習カードを活用していく。
- ・友達が頑張っていること・上手にできるようになったこと等を認め合う態度を育てる。
- ・ねらいを明確にし、個に応じた技能の習得を行い、できる喜びや達成感を得させる。
- ・体力を高めることの意義を伝え、運動の日常化につなげる投げかけをする。
- ・外で遊ぶ機会を作り、日常的に運動に取り組むようにする。

6年生 <体育科>

現状の分析

<知識及び技能>

- ・知識を活用して運動に生かそうとする姿は、多く見られる。
- ・知識として技能のポイントを知っているが、動きとして表現することができない児童も多い。
- ・ボールの扱いの個人差が大きい（ボールを持たないときの動きにも個人差あり）。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・チームで取り組む学習では、課題を基に、練習方法や作戦を考えながら学習に取り組む姿が見られた。
- ・自分の考えをもって伝え合おうとする児童が増えてきている。
- ・自分のめあてを意識して取り組む児童が少ない。
- ・自己の課題を見付け、解決の方法を考える児童が少ない。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・運動に対する関心や意欲の高い児童と低い児童の差が激しい。
- ・約束やきまりを守って運動する児童が多い。
- ・人や物に対して、適切に扱うことができない児童がいる。
- ・外遊びをしない児童もいる。
- ・多くの児童が朝食をしっかりと食べて登校しているが、食べずに登校する児童も少なくない。

重点課題

<知識及び技能>

- ・楽しく運動に取り組みながら、基礎的な技能を身に付ける。
- ・技やゲームの行い方を理解し、自分に合った取り組み方を見付ける。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・動きの中から自分に合った課題を見付けられるように、視点を明確にする。
- ・課題を把握し、課題解決に向けた学習計画を立て、見通しをもって課題を解決していく。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・試合やゲームの結果を意識するだけでなく、練習や試合で友達と協力し、楽しさや充実感を感じる中で、勝敗を受け入れる大切さやチームワークの大切さを意識する。
- ・めあてに向かって進んで取り組み、一人一人が楽しく運動できるように工夫しようとする態度。
- ・目的意識をもって、毎時間の課題に対して自己評価をし、次回へつなげていくこと。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・運動の特性に応じた技能のポイントを明確にし、確実に使えるようにする。
- ・学年や学級の実態に合わせ、題材となるゲームや運動の行い方を分かりやすくする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・一人一人が練習方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりできるように、学習カードを工夫する。
- ・自己の課題を書き込むことのできる学習カードを作成する。
- ・学習中のチームの良さや課題を話し合う振り返りの時間を設ける。
- ・様々な課題に応じた練習の場を設定できる環境を整える。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・課題を見出したり、伝え合ったりする時間を設定する。
- ・友達が頑張っていること・上手にできるようになったことなどを認め合う態度を育てる。
- ・ねらいを明確にし、スモールステップで授業を進め、できる喜びや達成感を得させる。
- ・体力を高めることの意義を伝え、運動の日常化につなげる投げかけをする。
- ・楽しんで行えるよう合言葉を活用していく。
- ・振り返りの時間を確保する。

